

○ 神経伝導検査

神経伝導検査は神経に電気刺激を与え、その反応を記録する検査です。末梢神経障害の有無や病変の部位、重症度などを調べることができます。

電気刺激を使用するため、ピリピリ感、痛みを感じる場合があります。

ペースメーカーや ICD などの精密機器を体内に挿入されている方は検査できない場合がありますので医師にご相談ください。刺激の痛みに耐えられない方は検査できないことがあります。検査内容によりますが、検査時間は 30 分～2 時間です。

○ 誘発電位検査

当院では体性感覚誘発電位（SEP）、運動誘発電位（MEP）、聴性誘発電位（ABR）、視覚誘発電位（VEP）等を主に行っています。

それぞれ電気刺激、磁気刺激、クリック音刺激（聴覚刺激）、パターン反転刺激（視覚刺激）を用いて、脳の反応を評価します。

電気・磁気刺激を使用する検査はピリピリ感、痛み等を感じる場合があります。

また、ペースメーカーや ICD などの精密機器を体内に挿入されている方、入れ墨やタトゥーをされている方は検査できない場合がありますので医師にご相談ください。刺激の痛みに耐えられない方、体動が激しい方、安静にすることが難しい方は検査できないことがあります。検査の種類によりますが、検査時間は 1 時間～3 時間です。

○ 針筋電図検査

針筋電図検査は筋力の低下や筋萎縮の原因を知るために、直接筋肉に針を刺し、力を抜いたり入れたりした時の筋肉の電氣的活動を記録します。針を刺すため、検査は痛みをともないます。医師が施行します。

検査時間は約 30 ～40分です。